日本流体力学会年会2014のご案内

2014 年度の日本流体力学会年会は仙台で開催されます。本会議は、専門分野の垣根を越えた自由闊達な討論の場として、また会員同士の交流の場として毎年数多くの皆様にご参加いただいてまいりました。もちろん、流体力学に関心をお持ちの方ならどなたでもご参加いただけます。これまで同様、幅広いテーマのセッションを企画しておりますので、皆様のふるってのご参加を心よりお待ちしております。

主 催:(社)日本流体力学会

開催日: 2014年9月15日(月)~9月17日(水)

会場:東北大学川内北キャンパス

(〒980-8576 宮城県仙台市青葉区川内 41)

http://www.tohoku.ac.jp/japanese/profile/campus/01/kawauchi/index.html

講演申込締切:2014年6月15日(日)

1. 特別講演

1件予定

- 2. 流体力学会賞・FDR 賞受賞記念講演 論文賞, 竜門賞, 技術賞, FDR 賞
- 3. オーガナイズドセッションおよびキーワード 次ページをご覧ください.

4. 発表形式

発表は日本語または英語による口頭発表とします. 発表時間は一講演あたり20分(発表12分,質疑応答8分)です. 講演論文原稿はA4(カラー可)で2~4ページ(最小2ページ)を標準とし、最大10ページまで受け付けます. なお,予稿集はUSBのみの配布となりますのでご了承ください.

5. 講演申込み及び原稿提出方法

年会 2014 のウェブページを用意しますので、そちらからお申し込みください. 執筆要綱及びテンプレートも併せて掲載いたします. どうぞご利用ください. 受付開始は 2014年3月末頃の予定です. 詳細は、年会ホームページ(http://www2.nagare.or.jp/nenkai2014/)でお知らせします.

6. スケジュール

講演申込締切: 2014年6月15日(日) 原稿提出締切: 2014年7月27日(日) 参加事前登録締切: 2014年8月22日(金)

7. 参加登録

参加登録費には USB 予稿集が含まれています. 講演会に 参加されない方で USB 予稿集をご希望の方は、学会事務 局までお問い合わせください. なお、学生非会員は、年会 で会員登録をすると 2015 年 12 月末までの会員資格が与え られます.

(1) 事前参加登録費

ながれ第33巻 No.3 に添付される振込用紙をご利用ください.

・会員一般 (協賛学協会員を含む)9,000 円・会員学生 (協賛学協会員を含む)3,000 円・非会員一般14,000 円・非会員学生7,000 円

(2) 当日参加登録費

当日学会会場にて、現金でお支払いください.

 ・会員一般 (協賛学協会員を含む)
 10,000 円

 ・会員学生 (協賛学協会員を含む)
 4,000 円

 ・非会員一般
 15,000 円

 ・非会員学生
 8,000 円

8. 懇親会

日 時:9月16日(火)18:30 ~ 20:30 (予定) 会 場:東北大学生協 川内の杜ダイニング (川内北キャンパス内)

事前登録会費:

・一般 4,000 円 (当日 5,000 円) ・学生および同伴者 1,000 円 (当日 2,000 円)

東北大学 大学院工学研究科

9. 問い合わせ先

日本流体力学会年会 2014 実行委員会 E-mail: nenkai14@fluid.mech.tohoku.ac.jp

10. 年会 2014 実行委員会

実行委員長

福西 祐

瀬尾 和哉

全事 伊澤精一郎 東北大学 大学院工学研究科 伊賀 由佳 東北大学 流体科学研究所

実行委員

上野 和之 岩手大学 大学院工学研究科
小原 拓 東北大学 流体科学研究所
佐藤 岳彦 東北大学 流体科学研究所
次村 利洋 八戸高等専門学校 機械工学科
須藤 誠一 秋田県立大学 システム科学技術学部

永井 大樹 東北大学 大学院工学研究科 西尾 悠 東北大学 大学院工学研究科

野呂 秀太 仙台高等専門学校 機械システム工学科 長谷川 裕晃 秋田大学 大学院工学資源学研究科

山形大学 地域教育文化学部

 服部
 裕司
 東北大学
 流体科学研究所

 持田
 灯
 東北大学
 大学院工学研究科

 米村
 茂
 東北大学
 流体科学研究所

 若嶋
 振一郎
 一関高等専門学校
 機械工学科

年会 2014 募集セッションとキーワード

| カテゴリー | セッション | キーワード |
|-----------------|---------------|--|
| 安定性・遷移・乱流 | 乱流 | 乱流理論, 乱流構造, 乱流力学, 乱流境界層, 壁乱流, 自由乱流, 組織渦構造 |
| | 安定性・遷移 | 不安定性,分岐,乱流遷移,カオス,境界層, チャネル流,管内流,噴流,後流 |
| | 空力音 | エオルス音, 渦音, 乱流騒音, キャビティ音, 音源, 音響予測 |
| | 対流・拡散 | 熱対流, マランゴニ対流, 乱流拡散, スカラー拡散, 熱交換, 物質交換, 電磁, 磁気 |
| 対流・拡散・波動 | 波動 | 波動理論, 內部波, 熱音響波, 水面波, 衝擊波 |
| | 成層・回転 | 温度成層,密度成層,回転流体 |
| 解析・予測・制御 | 流体計測・実験法 | 可視化,多次元計測,熱線流速計,PIV, LDV, LIF UVP |
| | 数値計算・乱流モデリング | 渦法, ボルツマン法, 粒子法, DNS, LES, RANS, DES ハイブリッド, 計算手法, 空力設計 |
| | 流体数理 | 流体数学,力学系,統計理論,高粘性流 |
| | 流れの制御 | アクチュエータ, 乱流制御, 騒音制御, はく離制御 抵抗低減, 伝熱促進, 混合促進 |
| | 流れと物体・建物・インフラ | 流体構造連成,流体関連振動,建築群,橋梁, 耐風性能,街路,交通,通風 |
| | 流体機械 | 流体機械,流体機器,タービン,ポンプ,風車,翼,換気,空調 |
| 反応・多相系 | 燃焼・反応・高エンタルピー | 火炎モデル, 予混合, 乱流燃焼, 解離・電離, 極超音速, プラズマ |
| | 混相 | 固気, 気液, 固液, 界面, 気泡, スラグ流, 土石 |
| | 非ニュートン | レオロジー,液晶,高濃度,エマルジョン, 高分子・ポリマー,界面活性剤 |
| | 気泡・液滴・界面 | 界面流れ、キャビテーション、衝突、相変化、変形 合体、分裂、崩壊、生成 |
| | 宇宙・惑星 | 太陽,星間雲,相対論 |
| 環境・地球・宇宙 | 河川・湖沼 | 土砂輸送, 地形変化, 密度流, 浸透流れ, 水質 |
| | 海洋・海域 | 海洋循環,エルニーニョ,潮汐流,離岸流,津波 深層流 |
| | 大気・気象 | 気象モデル,接地境界層,大気拡散,都市気候,望 豪雨,嵐,竜巻,台風,耐風安全性,強風防災 |
| バイオ・マイクロナノ・スポーツ | マイクロ流体 | アクチュエータ, ポンプ, 計測, 流動, 混合, 分離 気泡, MEMS |
| | 分子スケール | 希薄流,高クヌッセン数,分子動力学,分子線, イオン分散 |
| | 生物流体 | 飛翔, はばたき, 抗力低減, 静粛化, 魚類, 鳥類 昆虫, 微生物, MAV |
| | 生体の流れ | 血液, 呼吸器, 循環器, 血管, 拍動, センサ |
| | スポーツ流体 | 走法、泳法、球技、スキー、スケート、自転車 |